



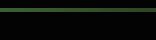
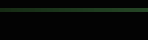
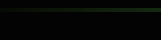
# NILZZ

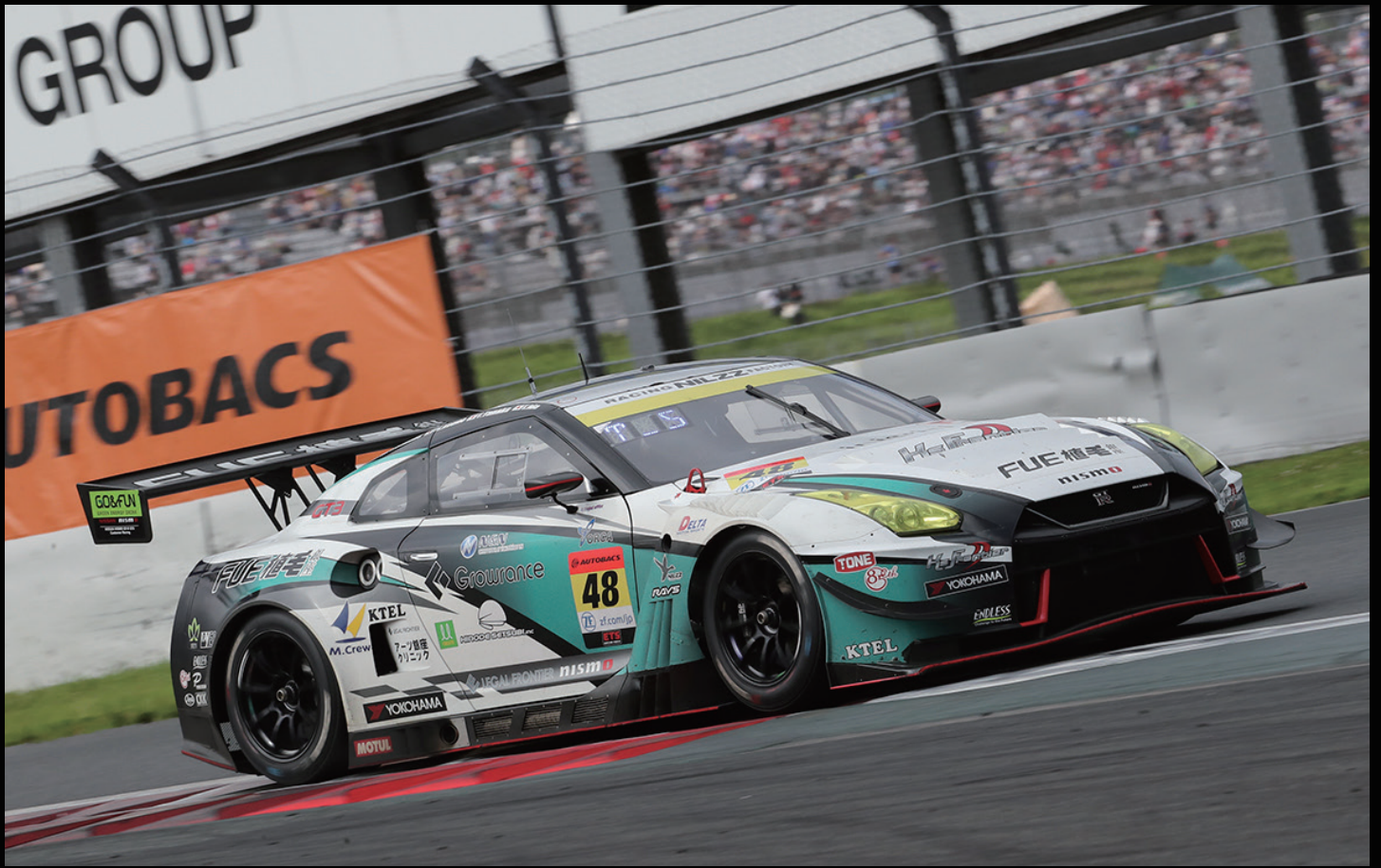
## RACING FACTORY

### FUJI GT 450km RACE

#### 2023 AUTOBACS SUPER GT Round.4 RACE Report

カテゴリー	: SUPER GT SERIES 2023 GT300 クラス	公式練習	: 1'39.477 (GT300 クラス 25 位)
エントラント	: NILZZ Racing	公式予選 Q1	: 1'38.366 (GT300 クラス B 組 13 位)
カーナンバー	: 48	公式予選 Q2	: ----
マシン名称	: 植毛ケーズフロンティア GT-R	決勝	: GT300 クラス 21 位 (91 周)
ドライバー	: 井田太陽 / 眞田拓海		
開催地	: 富士スピードウェイ (静岡県)		
開催日	: 2023.8.5~2023.8.6		
天候	: 晴れ (8.5) 晴れ / 雨 (8.6)		
イベント動員数	: 20,200 人 (8.5) / 30,200 人 (8.6)		





第3戦鈴鹿大会から2ヶ月のインターバルを経て、8月5日(土)から6日(日)にかけて、SUPER GTシリーズ第4戦“FUJI GT 450km RACE”が静岡県富士スピードウェイで開催された。

今回、第2ドライバーとしてエントリーしていた田中優暉が体調不良により、急遽欠場となってしまったため、今回は井田太陽と眞田拓海の2名で戦うこととなった。

### 8月5日(土) 公式練習

好天に恵まれた富士スピードウェイ。9時00分から行われた公式練習は、まず井田がコースイン。

その後、眞田と交代しながら周回を重ね、このセッションでは32周を計測。

セッション中盤に井田が記録した1分39秒477がチームのベストタイムとなり、NILZZ Racingの第4戦公式練習はGT300クラス25位と言う結果となった。

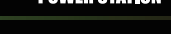
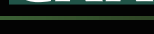
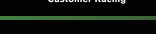
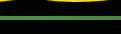
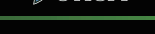
### 8月5日(土) 公式予選

午後に行われた公式予選。

NILZZ Racingは今回の予選Q1はB組での出走となり、今回のアタックドライバーは眞田が担当した。

初の予選出走となった眞田。ウォームアップを行い、3周目から計測を開始。徐々にタイムを縮めていくと、計測5周目にベストラップとなる1分38秒366をマークした。

最後のアタックに入った眞田だったが、タイム短縮はならず、予選Q1 B組13位となり、NILZZ Racingの第4戦公式予選はGT300クラス25位となった。





## 8月6日(日) 決勝

この日の朝は好天だったが、10時頃に天候は急変し、雨が降り出してしまふ。

この雨によって、スタート前に行われたウォームアップ走行はウェットコンディションへと変わってしまった。

ウォームアップ開始後、雨は止み、後半の眞田がドライブする頃にはドライタイヤが装着できるほどに、路面コンディションは回復していった。

しかしマシンがスターティンググリッドに着く頃にはまた雨が降り出し、またウェットコンディションへと戻ってしまった。レーススタートは通常のスタート手順から、セーフティーカー (SC) スタートへと変更され、13時45分、2周のSC先導走行の後、3周目からレースはスタート。

レースがスタートして間もなく雨は止み、所々に青空が見える程に天候は回復していった。

スタートドライバーを務めた井田は、急激に回復していくコンディションの中、ウェットタイヤでの走行が厳しくなり、10周を終えてピットイン。ドライタイヤに交換のみ行い、コースへ復帰した。

井田はピットアウト後、順調に周回を重ね、30周を終えてピットイン。

このピットインで義務給油の1回目を果たし、眞田にドライバー交代を行った。

ロングスティントを担当した眞田はコース復帰後、好ペースで周回。

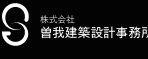
62周目、トラブル車両の火災が発生したため、SCが導入。その後すぐに赤旗が提示され、レースは中断となる。

赤旗中断中、大雨が降り出し、コース上は一気にウェットコンディションとなった。

レインタイヤへの交換が許可されたため、ホームストレート上では慌ただしくタイヤ交換が行われた。

47分の中断の後、SC先導でレースが再開。この頃には雨は止んでいた。

徐々に回復していくコースコンディションの中、79周を終え、ドライタイヤへ交換して走行できると判断し、2回目の義務給油とドライタイヤへの交換を行った。





ピットアウト直後、眞田に追突行為に対するドライブスルーペナルティの裁定が下る。  
 ペナルティーを消化した眞田は、チェッカーまでの残り周回を無事走りきり、GT300クラス 21位で完走を果たした。

急変する天候もあって、非常に厳しい第4戦となりましたが、今回も完走することができました。  
 次戦鈴鹿大会からシリーズも後半戦に突入します。  
 更に激しいレースとなる事が予想されますが、これからも頑張っていきますので、引き続き皆様のご声援、ご支援をよろしくお願いたします。

